

平成29年度 工学部 F D 講演会

木下 英二（機械工学科）

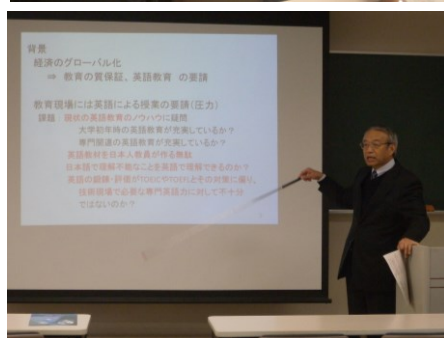
平成 29 年度の工学部 FD 講演会は、理工学研究科、理学部との共同開催を含め計 6 回開催した。

第 1 回工学部 FD 講演会を平成 29 年 5 月 22 日（月）16:15～17:30 に稲盛会館にて開催（建築学科との共催）した。講師は K. Ito & Associates Ltd. ENGINEERS AND BUILDING DESIGNERS 代表であ

り、岡山大学地域総合研究センターアドバイザーの伊藤公久 氏，講演題目は「カナダの大学の教育と教育プログラムによる国際交流」，参加者は 198 名（工学部教職員 69 名，他部局教職員 12 名，他学部学生 2 名を含む学生 95 名，学外者 20 名）であった。講演ではカナダの社会・文化・教育について概説され，大学における留年に対する日本との考え方の違い，すなわち留年は学生自身の意志によるもので，本人の可能性や適正を発見させ，進路・職業選択を容易にするプロセスの一つと位置付け，単位不足による進級できない日本の留年をカナダでは落第と呼び区別している点，Co-op プログラム（大学での学びが企業等での仕事の現場でどのように生かされているかを実践的に学ぶプログラム）等について説明があり，Co-op プログラムにおけるブリティッシュ・コロンビア大学と岡山大学との連携が紹介された。



第 1 回工学部 FD 講演会



第 4 回工学部 FD 講演会

第 4 回工学部 FD 講演会を平成 29 年 11 月 2 日（木）16:15～17:40 に工学系講義棟 111 教室にて開催した。講師は山口大学大学院創成科学研究科建設環境系専攻教授 羽田野 袈裟義 先生，講演題目は「FE 試験用教材を用いた効率的な工学教育」，参加者は 39 名（工学部教職員 16 名，他部局教職員 7 名，学生 16 名）であった。講演では米国の PE (Professional Engineer) 資格制度の 1 次試験である FE (Fundamentals of Engineering) 試験について，この試験が工学部卒業程度の学力を審査するもので，工学一般を含め各専門分野に受験用の参考書が用意されている等の概説があり，参考書の一つである FE Review Manual (Engineering General) を工学英語力と工学基礎学力の養成のための教材として活用している山口大学の試験的教育実践が紹介された。後半は，羽田野先生の研究室で行われている具体的な取り組みについて，参加者を交えた模擬授業が行われた。

2016年度工学部エクセレント・レクチャー受賞者7名による工学部FD講演を3回(第2回, 第3回, 第5回)に分けて総合理工学研究棟プレゼンテーションルームにて開催した。開催日時, 参加者数, 講演者, 講演題目とその概要は以下のとおりである。講演内容の詳細は工学部ホームページにエクセレント・レクチャー受賞者のコメントとして掲載されているのでそちらを参照されたい (<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/education/el.html>)。

【第2回】:平成29年9月20日(水)15:00~15:30,参加者79名(他部局教職員2名を含む)

・片野田洋 教授(機械工学科)

講演題目「機械工学科における3次元CAD教育について」

概要「3次元CAD利用技術者試験を受験できる授業内容としており,学生が自学自習可能なテキストを自作・改良し,理解度確認のための小テスト等を行っている」

・堀江雄二 准教授(電気電子工学科)

講演題目「卒業後も役に立つ基礎学力の向上を目指して」

概要「緻密な授業計画(予習・復習,演示実験,演習,小テスト,コメント付き採点等)を立て,学生の自己修復(振り返り)が繰り返してできるような工夫を行っている」

【第3回】:平成29年10月18日(水)15:00~15:30,参加者100名(他部局教職員1名を含む)

・朴光賢 助教(建築学科)

講演題目「エスキスから学ぶこと」

概要「建築設計において,学生と十分コミュニケーションを取り,作りたいものがない,表現できる・できない,等の学生の違いにより,指導方法を変更している」

・水田敬 助教(環境化学プロセス工学科)

講演題目「理解度と質の向上を目指して」

概要「あまり縁が無いと考えられがちなプログラミングに対し興味を持たせ,レベルを下げずに理解度を上げる工夫(実用例の解説,自作テキストの改良等)を行っている」

【第5回】:平成29年11月15日(水)15:00~15:45,参加者106名(他部局教職員8名を含む)

・木村至伸 准教授(海洋土木工学科)

講演題目「学生に『解ける自信をつけさせる』ために」

概要「解の導出過程に対して丁寧な板書・説明,レポートの間違いへのコメント等を行い,学生が理解できていない内容を把握して次の授業や翌年へフィードバックしている」

・大野裕史 助教(情報システム工学科)

講演題目「オンラインビデオによる反転授業についての考察」

概要「オンラインビデオによるアクティブラーニングの教材開発の試行的取り組み(学生の反応を基に板書・手書きスタイルからPowerPoint録画へ移行)を行っている」

・金子芳郎 准教授(化学生命工学科)

講演題目「エクセレント・レクチャー賞を受賞して」

概要「丁寧な講義スライドの準備・配布,眠くならず理解度を上げるためのメリハリある授業(1回の授業で,小テスト→講義→演習→講義→演習→まとめ)を行っている」

また,理工学研究科,理学部との共同開催のFD講演会を平成29年9月12日(木)13:30~15:30に稲盛会館にて開催した。講師は河合塾教育イノベーション本部の中島由紀子氏,講演題目は「大

学教育の質的転換と IR」, 参加者は教員 84 名 (理系 : 27 名, 工系 : 50 名, 他部局 7 名), 事務・技術職員 10 名の合計 94 名であった。この講演に関しては, 平成 29 年度理工学研究科 FD 報告書に掲載されているので, 詳細はそちらを参照されたい。